

教科の学習の概要 国語 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	現代の国語	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の確認、構成分析、主題・大意の把握、設問の解法 ・ 対立概念の把握、文章表現技法の特色の抽出 ・ 常用漢字の学習
		言語文化	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典講読・古文解釈・漢文訓読 ・ 問題演習・文法演習・百人一首解釈と鑑賞 ・ 文学作品の背景を調べる。
2 年	必修	古典探究	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味・用法及び文の構造を理解すること。 ・ 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉えること。 ・ 基本的な助動詞・助詞の用法・意味、敬語法を理解し、古典の文章読解に役立てる。 ・ 基本的な句法を理解し、漢文の訓読 ・ 解釈に役立てる。
		現代文演習Ⅰ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の確認 構成分析 主題・大意の要約、設問の解法 ・ 対立概念の把握、文章表現技法の特色の抽出 ・ 文学作品の背景を自ら調べる。 ・ 常用漢字の学習

3 年	必修	現代文演習Ⅱ	2 (理系)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章においては、論理の展開や要旨を的確にとらえるために、1・2年次にも学習した語句の確認、構成分析等の学習を行う。 ・文学的な文章については、構成や叙述の仕方に留意しながら、心情や情景、人物像を的確にとらえる。また、文学作品の時代的背景を自ら調べることで、作品をより広い視野から読み味わうことができるようにする。
			2 (文系)	
	B型 必修選択 B型 自由選択	小論文	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの「書く材料」探しをする。 ・各自の文章力のスキルアップのための課題に取り組む。 ・多様な出題に対する適応力を養うための課題に取り組む。 ・他の人の文章に触れることで、視野を広げ、思索を深める。
		古典講読 (古文分野)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・古語の意味、用法を語源から掘り下げて理解する。 ・文章の構成や展開に即して主題要旨を捉える。 ・助動詞や助詞敬語法の理解を一層深め、表現に即してそのもつ意味を正確に理解する。 ・文学史上での作品の位置付けを理解する。 ・受験問題を実際に解き解法を学ぶ。
		古典講読 (漢文分野)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文を読んで内容を読み取れるようにする。 ・文脈把握のため主体をしっかりと捉えて読む。 ・予習時に得た読解内容や現代語訳を授業で確認する。 ・多読多義語、句法プリント等で重要事項を授業中に修得するよう心がける。 ・背景知識の定着のため意識して授業を聞き、総覧を活用する。 ・単元を修了するごとに問題演習を行い、問題への解答に慣れる。
	B型 必修選択 共通 自由選択	古典演習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・古語の意味・用法を語源から掘り下げて理解する。 ・文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。 ・助動詞や助詞・敬語法の理解を一層深め、表現に即してそのもつ意味を正確に理解する。 ・文学史の上でそれぞれの作品のもつ意義を理解する。 ・受験問題を実際に解き、解法を学ぶ。
	共通 自由選択	理系選択 古典演習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・内容読解のために文脈を把握し、主体をしっかりと捉えて読む。 ・文法、句法、単語をプリントや小テストで確認し、重要事項を授業中に修得するよう心がける。 ・問題演習を時期をみて行い、問題に慣れ、答えまでの筋道を理解する。

教科の学習の概要 地理歴史 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	地理総合	2	地理情報システムや地図を活用し、現代世界や国際社会の特質を地理的に考察し、国際社会、地域社会に生きる公民としての資質・能力を養う。
2 年	必修	歴史総合	2	近代化、国際秩序の変化と大衆化、グローバル化を柱に近現代史を理解し、多面的・多角的に考察する力を養う。
		日本史探究	2	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について多面的・多角的に考察し、探究する。
		世界史探究	2	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について多面的・多角的に考察し、探究する。
3 年	B型 必修選択	地理探究	4	系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的な見方や考え方を学習し、国際社会、地域社会に生きる公民としての資質・能力を養う。
	B型 自由選択			
	B型 必修選択	地理探究	2	系統地理と地誌の双方からのアプローチによって、現代世界の地理的な見方や考え方を学習し、国際社会、地域社会に生きる公民としての資質・能力を養う。
	共通 自由選択			
	B型 必修選択	選択日本史	4	原始・古代から江戸時代までの通史を中心に学習する。
		日本史演習	2	近現代史を中心に学習し、演習を行う。
		選択世界史	4	先史・古代から近世の通史を中心に学習する。
		世界史演習	2	近現代史を中心に学習し、演習を行う。

教科の学習の概要 公民科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	公 共	2	社会に参画する際に、選択・判断するための手掛かりとなる見方・考え方を学び、それを活用して法・政治および経済に関する課題の解決策を考察する。
3 年	B型 必修選択 共通 自由選択	政治・経済	2	現代の政治・経済のしくみと歴史、課題について学習する。 国際政治・国際経済分野を先に取り扱い、1年次公共での既習事項は、問題演習中心の授業とする。

教科の学習の概要 数 学 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1年	必修	数学I	3	(1) 数と式 (2) 集合と命題 (3) 2次関数 (4) 図形と計量 (5) データの分析
		数学II	1	(1) 式と証明 (2) 複素数と方程式 (3) 図形と方程式
		数学A	2	(1) 場合の数と確率 (2) 図形の性質 (3) 数学と人間の活動
2年	必修	数学II	3	(1) 三角関数 (2) 指数・対数関数 (3) 微分法と積分法 (4) I A II B演習 (5) 関数と極限
		数学B	2	(1) 数列 (2) 統計的な推測 (3) ベクトル
3年	A型 必修選択	数学III	4	(1) 微分法 (2) 微分法の応用 (3) 積分法 (4) 積分法の応用
		数 学 C	2	(1) 空間ベクトル (2) 式と曲線 (3) 複素数平面
		数 学 演 習 I	4	今年度は開講しません。
	A型 自由選択	数 学 演 習 II	2	「2026実戦数学重要問題集(理系)」を活用して、数学I・A・II・B・Cの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。
	B型 必修選択	数学 α	4	「ニュースタンダード数学演習I・II・A・B」を活用して、数学I・A・II・B・Cの総復習をし、共通テスト形式の実践問題や過去問題の演習を通して、実践力の向上を図る。
		数学 β	4	「クリアー数学演習I・A・II・B・C」を活用して、数学I・A・II・B・Cの総復習をし、難関大学の入試問題に対応できる記述力を養う。

教科の学習の概要 理 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	生物基礎	3	「生物の特徴」「ヒトの体の調節」「生物の多様性と生態系」の3分野について学習する。
2 年	必修	物理基礎	3	「運動とエネルギー」「熱」「波（波の性質・音）」について、発展的な内容を含めて学習する。「電気」については、3年次（選択者）で学習する。
		化学基礎	3	物質の構成、物質の変化、有機化合物（脂肪族化合物）、物質とエネルギーについて学習する。
3 年	A型 必修選択	物 理	5 (4)	力学、波（光）、熱と気体、電磁気、原子について学習する。物理基礎に比して、系統だった難解で高度な内容となる。
		化 学	4	有機化学、熱化学、反応速度、化学平衡、高分子化合物、天然物、無機化学について学習する。
		生 物	5 (4)	「生物の進化」「生命現象と物質」「遺伝情報の発現と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」の5分野について学習する。
	B型 必修選択 B型 自由選択	物理基礎演習	1	まず、物理基礎の内容を完結し、演習テキストを用いて大学入学共通テスト対応の演習を行う。
		化学基礎演習	1	原子の構造、化学結合、量的関係、酸・塩基、酸化還元について、実験を取り入れながら学習する。
		生物基礎演習	1	生物基礎の内容を一通り復習する。また、大学入学共通テストに対応するための演習を行う。

教科の学習の概要 保健体育 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	体育	3	男女とも年間で球技（屋外種目・屋内種目）を5種目行う。その他に体づくり運動、水泳、陸上競技を行う。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。 1学期に体力テストを3時間程度実施する。
		保健	1	健康の考え方・健康の保持増進と生活習慣病予防・がんの原因と予防 精神の健康・交通安全・災害の発生と安全健康（応急手当）について学習する。
2 年	必修	体育	2	男女ともソフトボール、テニスを2クラス2展開で行う。 他に男女ともバスケットボール、バレーボール、バドミントン、水泳、長距離走、スポーツⅡを行う。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。 1学期に体力テストを3時間程度実施する。
		保健	1	生涯の各段階における健康（妊娠、出産、結婚について）・保健、医療制度及び保健医療機関・環境問題・様々な保健活動対策について学習する。
3 年	必修	体育	2	屋内及び屋外の4種目を選択し、各グループで課題の設定と学習方法を計画して授業を展開する。体育理論をプリント及び実技から年間を通して学習する。1学期に体力テストを3時間程度実施する。

教科の学習の概要 芸術科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修 (選択)	音楽Ⅰ	2	小中学校で扱わなかった分野の補遺。作編曲の基礎、鑑賞、器楽、歌唱、楽典基礎。実技と理論を結び付けた各種表現学習。
		美術Ⅰ	2	青高伝統の外苑イチョウ並木の写生に加え、立体制作やデザイン課題、色彩理論、技法学習等。発想と技法を結びつけた制作と鑑賞の両面を学習。
3 年	B型 必修選択 B型 自由選択	音楽Ⅱ	2	音楽・保育系専門学校や音楽大学へ進学希望の者及び趣味に対応。和声学、ソルフェージュ、聴音、初見、ピアノ、様々な楽器。

教科の学習の概要 外国語 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	英語コミュニケーションⅠ	4	<ul style="list-style-type: none"> 英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」という4技能を向上させるために、語彙力を身に付け、様々な種類の英文を読み、読解力を養う。同時に、読解した内容について、情報や考えなどを英語で的確に表現する練習を行う。
		論理・表現Ⅰ	2	<ul style="list-style-type: none"> 英語による実践的なコミュニケーション能力向上のため、基礎的な英文法を習得する。特に、英文構成の基本を習得して、日常的な話題や社会的な話題について、話したり（やり取り・発表）、書いたりできるように練習を行う。
2 年	必修	英語コミュニケーションⅡ	3	<ul style="list-style-type: none"> 英語コミュニケーションⅠよりも量的、質的に高度の英文を読むことにより英語の理解力を高める。パラグラフのメインアイデアを捉えたり、トピックセンテンスを抽出したり、要約する練習を行う。 精読、速読の両面からのアプローチによって、英文理解を促進する。
		論理・表現Ⅱ	2	<ul style="list-style-type: none"> 文法・語法について、より難しい問題演習を数多くこなして、多様な問題に適応する力を養う。 和文英訳力、パラグラフィティングなどによって、英文構成力の伸長を図る。 リスニング、スピーキングにおいては、様々な分野に関する英文を正確に聞いて、プロットをまとめたり、意見を述べたりする練習を行う。
	自由選択	ドイツ語	2	<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語を読んだり、聴いたり、話したり、書いたりするうえで、どうしても必要不可欠な初級文法の習得を目指す。
		フランス語	2	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介、道を尋ねる表現、カフェやレストラン、買物等に必要な会話や日常生活でよく使う表現を身につける。 学んだ単語や表現を使いながら様々なアクティビティを行い、聞く、話す力をより身につけられるようにする。 フランスの社会・歴史・文化についてもDVDやインターネットなどで紹介したりする。

3 年	必修	コミュニケーション英語Ⅲ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年での学習を土台に英語コミュニケーション力の完成を目指すと同時に、積極的に入試問題に取り組む。 ・長文問題では、その出題形式に慣れ、一定の時間内に解答し7割以上正解できるようにする。 ・共通テストの予想問題を実戦形式で時間を設定して解答し、8割以上の正解率を目指す。
		論理・表現Ⅲ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次から学習してきた英文法全般を復習し、総合的な英語力の向上を図る。 ・英語の語法について学習し、正確な英語についての理解を深め、運用能力を高める。 ・和文英訳問題にあたっては、複数の表現方法を学習することで、英語の表現力を向上させる。 ・リスニング力の向上を図ると共に、自由英作文にも取り組む。
	B型 必修選択 B型 自由選択	英語選択A	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は開講しません。
		英語選択B	2	<ul style="list-style-type: none"> ・難度の高い長文の要旨を捉えると同時に、細部にわたって正確に理解し、入試問題に備える。 ・高度な語彙知識を身に付ける。 ・広範にわたる文法の知識を確実にし、読解に資するものにする。
		英語選択C	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題や社会的な話題について、詳しく話して伝えることができるようにする。 ・入試におけるリスニング試験で高得点を取れるよう、ストラテジーを身に付ける。

教科の学習の概要 家庭 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
2 年	必修	家庭基礎	2	① 生きていく力（生活スキル）を身に付けさせると同時に生活課題を解決する力、生活向上を図る能力を育てる。 ② 衣食住と健康とのかかわりについて学習し、基本的な知識、技術を習得させる。 ③ 家族や家庭生活の在り方、乳幼児と高齢者の生活と福祉について理解し、男女が協力して家庭を築くことの重要性を学ぶ。 ④ 消費生活と、法教育に関する基礎的な知識を身に付ける。

教科の学習の概要 情報 科

学年	必修・選択	科目名	単位数	学 習 内 容 の 概 要
1 年	必修	情報Ⅰ	2	① 情報社会を生きていく中で必要な情報の特徴を理解し、情報化が社会に及ぼす影響を学ぶ。 ② 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に利用して情報を収集、処理、表現するとともに、情報社会で効果的に情報技術を活用する力を身に付ける。 ③ 情報社会に積極的に参画する態度を身に付ける。
3 年	B型 必修選択 共通 自由選択	情報Ⅱ	2	① 情報技術の発展がもたらす変化を多角的に考え、社会に与える影響や倫理的課題・情報セキュリティについて学習する。 ② 情報システムに蓄積されているデータの分析手法・データ管理の技術を学習し、社会の問題解決にどのように活用されているか理解する。 ③ 情報システムの開発に必要なとなるプロジェクトマネジメント技法を学習し、ネットワークやプログラミング等の情報技術がどのように連携しているか理解する。